

会 議 録

会議名 (協議会等名)		第6回相模原市新たな火葬場を考える会				
事務局 (市担当課)		区政支援課 電話042 - 769 - 9814(直通)				
開催日時		平成28年8月24日(水) 19時00分～21時00分				
開催場所		津久井総合事務所 3階 第1・2会議室				
出席者	会 員	13人(別紙のとおり)				
	その他					
	事務局(市)	4人(区政支援課長、同担当課長、他2人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	4人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 議事 新たな火葬場整備に係る候補地選定について (1)各候補地の評価と比較 (2)今後のスケジュール 4 その他 5 閉会				

協 議 経 過

主な内容は次のとおり(〇 は座長の発言、 △ は会員の発言、 □ は事務局(市)の発言)

1 各候補地の評価と比較について

〇評価項目「費用面」の配点が高く、「青山(候補地)」は、他の候補地と比べ、評点差が大きくなっている。第4回の会議において示された3つの候補地の概算事業費に大きな差があるとは感じなかったが、「青山(候補地)」の概算用地費が、第4回の会議で示された額から、大きく下がったことが、評点差に影響していると思う。

第4回の会議において、参考として示した概算用地費については、大きく変動する可能性が高いことを説明しているが、庁内の土地評価担当課により算出された額を、精査した概算用地費として、今回示したものである。

〇「青山(候補地)」と「土沢北(候補地)」は、現況平場の雑種地であるが、概算用地費に大きな差が生じるのはなぜか。

用地費については、庁内の土地評価担当課に確認している。「土沢北(候補地)」と比べて、「青山(候補地)」は、そもそも相場として市場価格が低いことと県道から離れた山中に位置しているため、用地費が低額となっているとのことである。

〇今回示された概算用地費で用地取得できる担保はあるのか。

担保されるものではない。

〇地権者には、用地費について話をしているのか。

最終候補地が決まっていない現段階では、地権者との価格交渉は一切行っていない。

〇用地費について地権者と話をしていないのであれば、売買契約が成立しない可能性もあるため、今回示された概算用地費より高いと思われる固定資産税の評価額を基に算出したほうが良いと思う。

市が土地を取得する場合、不動産鑑定士による鑑定評価など、一般の土地取引価格を参考として、用地費を算定するものとされており、市はこの金額を超えて購入することはできない。

〇「寺沢奥南(候補地)」は、一部が財産区の所有地と思われるが、取得するとした場合、用地費は誰に支払われるのか。

財産区の所有地については、土地所有者である財産区に用地費を支払うこととなる。

〇8月19日に、候補地見学に行ったが、市が評価と比較を行う前に、候補地見学に参加した会員の意見を聞いた上で、市が持ち帰って検討すべきではないか。

第4回の会議において、本日の会議で、市が評価項目を設定した上で比較検討を行い、市から示すと説明している。

○費用面を重視するなら、第3回の会議で意見のあった平代山の市有地については、用地費はかからないのではないか。

平代山については、用地費はかからないが、高額な造成費が想定されるため、候補地の1つとしなかったという経緯があると承知している。

○第3回の会議において金原地区のまちづくりや津久井広域道路の計画を踏まえて、総合的に考えて欲しいという意見に対し、市は、庁内関係機関と、他の計画等を考慮した上で検討しているとのことであったが、今回示されたものは、庁内関係機関に伝わっているのか。

庁内関係機関で検討した上で示しており、周辺事業の動向を考慮し、津久井広域道路の延伸部での候補地の設定を検討し、結果として、市として、候補地の1つとしないこととしたものである。

○第4回の会議において、津久井広域道路の延伸部については候補地の1つとしないとの説明があったが、道路整備や敷地造成の方法を工夫することで、平成36年度の供用開始に間に合うのではないかと思うことや、3つの候補地についても、地権者や周辺住民の反対などにより、想定スケジュールが遅れる可能性もある。想定スケジュールに拘らず、将来のまちづくりを見据えた候補地選定を行ったほうが良いと思う。

○地域では、津久井広域道路の延伸による地域活性化を期待する声は多く、火葬場整備と併せて津久井広域道路の延伸を行うことで、地域のまちづくりの進展が図られると思う。

○「青山(候補地)」で火葬場を整備する場合、火葬場以外の開発が全く行われなため、将来のまちづくりに繋がらないと思う。

○都市計画決定されている津久井広域道路の延伸を軸に、金原地区のまちづくりや火葬場整備を行うといった地域全体のまちづくりを考えたほうが良いと思う。

○市は火葬場整備のみを検討するのではなく、津久井広域道路の延伸などの地域振興策を盛り込んだ検討を行ったほうが良いと思う。

○市は、地域の方の了解が得られやすい場所を示すほうが良いと思う。

○津久井広域道路の延伸を前提とした、全く新しい候補地を考えても良いのではないか。

○地域にとって火葬場は基本的には迷惑施設であるため、地域の活性化が図られるものがないと、理解してもらうことは難しい。

○火葬場の受け入れに伴う市としての地域振興策が必要ではないか。

○本日示された最終候補地(案)について、地域から説明を求められても答えられない。

○津久井広域道路の延伸部での候補地の設定について、もう少し議論した上で、判断してはどうか。

○市は、火葬場整備について、津久井広域道路の延伸を含めた周辺の他事業とは切り離して進めると説明しており、この段階において、津久井広域道路の延伸に関する意見が多く出るのは、会議の進め方として、いかがなものか。

○第3回及び第4回の会議において、市は、津久井広域道路の延伸を含めた周辺の他事業とは切り離して進めると説明しており、既に整理されている話なのではないか。

○平成27年度、考える会が立ち上がる前段で、市から地域に、候補地を提案して欲しいという依頼があったが、迷惑施設である火葬場の候補地を提案することは、大きな責任が伴うことから、市が決めるべきという意見を踏まえて、市が候補地を示し、会員が意見をするという現在の考える会の形があると思う。

○会員の意見が一致することはあり得ないので、会員からは様々な意見があったと整理してはどうか。

○考える会の立ち上げの経過を考えると、市が決めて、市が説明するという今のやり方しかないと思う。

本日冒頭に説明したところではあるが、津久井広域道路の延伸部を候補地の1つとしないこと及び3エリア5候補地から3候補地に絞り込むことについては、第4回の会議において説明し、本日、市として決定したことを報告したものである。

考える会は、新たな火葬場に関する意見を伺う場であり、伺った意見については、事業者である市が判断することとなる。

これまで、7箇所、5箇所、3箇所という絞り込みを行ってきており、今回3箇所の候補地について、比較検討を行うことで進めてきたので、この段階で、候補地を追加し、新たに検討を始めることはしないことと整理されている。

2 今後のスケジュールについて

○先日、串川地域振興協議会の役員会において、3つの候補地とも串川地域にあるため、串川地域振興協議会に説明して欲しいとのことであったので、よろしく願いしたい。

串川地域振興協議会と日程調整したい。

○説明の順序について、串川地域に説明してから、考える会に説明するほうが良いと思う。

必要な説明は市が行っていく。

○最終的に決めた場所は動かないので、地域の理解が必要であると思う。慎重に進めて欲しい。

今後予定している説明会において、これまでの経過を含め、本日伺った意見を付して「青山(候補地)」を、最終候補地(案)として、丁寧に説明していく。

考える会として「青山(候補地)」を承認したというものではないので、そのようなことは決して言わない。

最終候補地としての市の意思決定は、本年秋頃を目途と考えている。

最終候補地として決定した後も、継続的に市民に説明していく。

さらに、火葬場については都市計画決定して初めて建設予定地となる。

都市計画決定するためには、地域に説明し、理解を得ていく必要があり、その段階に到達するまでには、まだまだステップがあり、時間もかかる。

以上

相模原市新たな火葬場を考える会会員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	関戸 佐助	津久井地区まちづくり会議		出席
2	高井 登志子	津久井地区まちづくり会議		出席
3	小野沢 良雄	津久井地区まちづくり会議		出席
4	内田 幸一	津久井地区まちづくり会議		出席
5	小河原 祐二	津久井地区まちづくり会議		出席
6	落合 勝司	津久井地区自治会連合会		出席
7	高崎 享	津久井地区自治会連合会		出席
8	廣瀬 市郎	津久井地区自治会連合会		欠席
9	八木 猛	津久井地区自治会連合会		出席
10	榎田 達雄	津久井地区自治会連合会		欠席
11	成瀬 博	津久井地区自治会連合会		出席
12	毘谷 泰之	津久井地区自治会連合会		出席
13	下園 克秀	津久井地区自治会連合会		出席
14	門倉 豊	津久井地区自治会連合会		出席
15	戸村 芳文	津久井地区自治会連合会		欠席
16	樋口 一美	市民局次長		出席